

野田副区長をはじめ多くの来賓の列席



大田支部総会報告

記念講演

2008年4月19日

「そうだ、葉っぱを売ろう！」

講師●株式会社いろどり 代表取締役 横石知二氏

どんだの田舎町を年商2億以上のビジネスと視察者の絶えない注目の町に変貌させた(株)いろどりの横石氏。取り組んだのは料亭などに納める「葉っぱ」のビジネス。「世界を変える社会起業家100人」にも選ばれたそのリーダーシップについてお話していただきました。

報告者●株式会社オープラス・メディア 代表取締役 馬場雅敬

ニ ユーズウィークで 見たことある人!

本日の講師である横石副社長のことは、以前に雑誌「ユーズウィーク日本版」の記事の中で一度お目にかかっていました。横石副社長が、2007年「世界を変え

る社会起業家100人」の一人として掲載されていたのをたまたま読んでいたのです。

持続可能な地域社会作りの伝道師として、いまも全国から講演依頼が舞い込む「時の人」のお話だけあって、開演前から会場の雰囲気は熱気で満ち溢れていました。

「葉 っぱを売る」ための 新しい一歩とは...

横石副社長が徳島県上勝町という過疎の町で運営されている「葉っぱを売る」ビジネスとは、様々な木々の葉を料亭などで使うつまもの(飾り)として商品化し、全国に販売するというものです。

この事業のおかげで上勝町は、過疎の町にありがちなマイナス志向で暗い雰囲気とは裏腹に、お年寄り一人一人が仕事を持って前向きに暮らす元気な町になったそうです。

しかし、横石副社長がこの事業を立ち上げる以前は、この町も他の町と同様、



講演のあとの楽しみはやっぱり...

ある大きな挫折の後に一度だけ、横石副社長は「もう辞めます」と辞表を提出されたそうです。しかし、その頃ようやく地

試 行錯誤と 挫折の後に

人の批判や愚痴の絶えない「負け組み」の町だったとのこと。横石副社長が取り組んだ新しい一歩とは、ないものねだりではなく、そこにしかないもの、すなわち都会にはない自然や高齢者を見直しながら強みに変え、どう活かしていくかという取り組みだったのです。

事業立上げの頃の横石副社長は、「葉っぱを売る」ために全国の料亭を歩くという血の滲むような営業のご苦労に加え、地元の人々の「そんなもの売れるわけがない」というあきらめ感とも戦わなければならないという状況です。ですから、まずは料亭というマーケット(市場)を知ること、そして、事業を支えるスタッフ(地元の高齢者の方々)の士気を高め仕事やりやすい仕組み(環境)を作り出すために試行錯誤を続けられました。

中 小企業への 教訓

元にも横石副社長の熱意が浸透し始めていて、大勢の方々からの「辞めないで」という嘆願書にもう一度チャレンジ精神を奮い立たされたという感動のストーリーもお話し頂きました。

今回の「葉っぱビジネス」のお話は、地方の過疎の町での成功事例としてだけではなく、私たち東京の事業者にも大いにヒントとなる点が多くありました。それは、私たち中小企業家も、限られた資源(ヒト・モノ・カネ)に弱音を吐くのではなく、自分の会社にしかないモノ・出来ないコトを再評価して、強みに変えていくことに大きなチャンスが潜んでいるということです。

本日、横石副社長にお会いし「葉っぱビジネス」の貴重なお話を聞けた事で、私にとっても2008年度をさらなる飛躍の年とするための大きな勇気を頂戴しました。



熱気あふれる講演会場

2008年度 大田支部活動方針

大田支部新支部長・(株)善設計代表取締役 鈴木善彦



▶今年の濱口賞に輝いた
新支部長の鈴木善彦氏(右)

いざなぎ景気を越える好景気と言われながら、我々中小企業家にとっては、実感を得られないまま、その景気も失速傾向にあると言われています。サブプライムローンの破綻に始まった金融業界の嵐は、ガソリンの高騰を招き、円高や株安といった大きな要因を生み、日本経済を失速させました。さらに、政治や企業の問題から、日常品の値上げなど身近な生活環境にまで影響は波及し、今後更に厳しくなる事が予想されます。昨年は、第16回経営研究集会において、10年後を見据えて、という統一テーマの下、今後予想される問題定義がされ、環境問題や人口減少など、今から対策をしなければならぬ事を学びました。

このような状況下で、私たち中小企業は、どのように自分たちの会社を守り、家族を守り、さらに会社を発展させる事が出来るのか、非常に厳しい課題となっています。昨年50周年を迎えた東京中小企業家同友会は、我々を取り巻く経営環境の中、多くの問題に取り組むために、第6次ビジョンを発表しました。それは、中小企業の発展にとって、指針となるような内容となっています。我々自身を守るために、中小企業憲章を制定することの必要性が、十分伝わってきます。今年度は、中小企業立国日本を実現するために、さらなる努力が必要であると、実感しています。

さて、2007年度の大田支部は、総括にもあったように、内海支部長の下、会の活性化のために、支部組織の見直しを行いました。残念ながら、その趣旨が、会員の皆様の理解を得る事が出来たとは言えない結果となってしまいました。例会の参加人数は減少し、旧幹事会と同じ役目である役員会も、あまり人数が集まらず、機能しない事態となってしまいました。今年度は、それらを踏まえ、同友会活動の原点に戻り、会員にとって、一番大切なことは何なのか、会員に皆はなにを求めているのか、を追求して行きたいと思っています。

2008年度大田支部のスローガンは

共感、感動、感謝
一人じゃない、仲間が居る
と決定されました。

例会や幹事会(役員会)の停滞とともに、会員相互の連帯感が薄れ、ばらばらになってしまった感のある現状から、今年度は、どんな時でも仲間が居るんだと言う事を認識し、共に共感、感動、感謝出来るような支部の活動を推進して行きたいと思っています。そのスローガンに則り、以下5つの方針を提案します。

① 例会作りの徹底化

すでに、役員会で、例会委員会は解散し、例会作りは幹事会で行うことが決定されています。今年度は、もう一度幹事会が一丸となって全員で例会を作る事から始めたいと思います。良い例会を作る事が、会の活性化につながり、会員の増強にも繋がって行きます。その為には、幹事全員で、時間を掛け、徹底して意見を戦わせる必要があります。また、そうする事は、幹事会が盛り上がるきっかけにもなります。そして、同友会らしい、経営の勉強や、経営者としての人間形成に役立つような例会を、ひとつでも多く催したいと思っています。

② 幹事会の充実

昨年度は、組織の改変により、役員会という名称に変わりましたが、機能としては、幹事会と同様なのですが、決定することが、最優先と業務となりました。

確かに、それ以前の旧来の幹事会は、議論が多く、なかなか決定されない議案が多いため、時間が長く掛かっていました。それを改善する為に、役員会を作り、スピーディーに決定できるようにしたわけですが、その為に、議論をする場が無くなってしまいがち、参加しても、意見を発言する場が無い人が出てきてしまった事が、役員会を停滞させてしまった大きな要因だと思います。まずは、①で挙げた、良い例会づくりの

為の議論をする時間をとる事が必要であると思っております。

③ 組織の見直し

昨年度改正された組織は、非常によく出来ており、皆が理解し協力すれば、理想的な支部活動が出来ると思っております。しかし、なぜ、機能しなかったのか。それは、組織の数が多過ぎ、それぞれの長もまた多いので、責任感が分散された事に拠る様に思われます。理想的な組織ではあるが、現状の大田支部になじむには、時間が掛かると思われます。

今年度は、昨年度の組織改変の趣旨を汲みつつ、徐々に大田支部に合った組織に変更して行きたいと思っております。270名の大組織である大田支部ですが、支部活動に参加している人は、極少数となっています。なるべく多くの人が、会活動に参加できるように組織に少しでも近づけるよう努力していきたいと思っております。

④ 会員相互の関係の強化

会員相互の繋がりを、より多く増やしたいと思っております。その1つとして、会員同士がよく知り合う場としてブロック会の復活を予定しています。大田区という地域で生活している我々にとって、地域の人達との交流は、仕事の面だけでなく、家族や社員の繋がりが大切なことと考えています。ブロック会は下駄履き交流として、地域に密着したアットホームな非常に良い交流会と思われ、是非、復活し、より深い関係構築の場となるようにしたいと思っております。

⑤ 行政や、他団体との関わり強化

昨年、大田区の区長が変わりました。松原新区長に同友会大田支部に対する認識を高めていただくための努力が不足していたと思っております。民間企業の声が必要となる時には、真っ先に声が掛かる存在となるよう働きかけて行きたいと思っております。また、商工会議所や法人会、工業会等、他団体との情報交換の場を増やして行きたいと思っております。

大田支部 2007年度総括

大田支部 2007年度支部長 ● 京浜容器(株) 代表取締役 内海節子

はじめに本年度、支部活動にご協力、ご支援いただいた全ての皆様にご心よりお礼申し上げます。

本年度における大田支部の活動は「磨こう感性、高めようクオリティー」を常にチャレンジ大田支部の「スローガン」とも、東京同友会第6次中期ビジョンを踏まえた、今、中小企業に求められる「豊かな感性と質の向上」を目指し、活動方針として、①時代のニーズに即した「組織改革」②充実した例会③新会員フォロー④人材育成⑤産学官への外部発達の5点を挙げ、会員の皆様へ多大な協力を仰ぎました。

「組織の見直し」で特記するところは…

支部の全体像を把握し、一部分だけの盛り上がりではなく、多くの会員の皆様の声を聞き、会員ニーズに因るためには、どのような活動が必要なのか？考えてまいりました。

本年度発足した人材育成部会では、現代の若い世代の考え方や、女性社員の教育、幹部社員の採用の仕方などを取り上げ、会員の皆様に提供いたしました。

また、組織委員会では、新会員オリエンテーションを開催し、同友会の活動目的の理解や仲間づくり、また、新会員の皆様が次世代を担う同友会会員としての第一歩を踏み出すきっかけ作りをいたしました。

そして、12月例会では、新会員が相互理解しあいながら、自ら「和」をテーマに例会企画をし、会員の「輪」を広げました。

月々の役員幹事会では、欠席幹事の近況や各業界の市場の様子を文書で報告し、出

席幹事は自社の経営課題や状況など、1分間スピーチで発表しました。その実施により、大田支部長として、支部の状況を東京同友会理事会、支部長会議などでタイムリに発表でき、大田支部のPRに大変役立ちました。

例会は成功したか？

本年度の例会は、5月、支部会員である(株)ハーツ山口氏の「新サービスレントラ便」を皮切りに、6月は東京同友会湯本代表が地元大田で「地域と共に永続する企業をめざして」をテーマに熱弁を奮いました。

7月例会は、やはり支部会員である児島特許事務所の児島氏と大田の若き士業の皆さんによる身近な知的財産活用で学びました。9月例会は、地元の荒井さんの中国でのビジネスの構築について話を聞きました。10月の第16回経営研究会(16研)は、「10年後の東京」をテーマに、鈴木善彦実行委員長を中心に、第一分科会を担当し、特に全体会の「中小企業憲章」を取り上げた中小企業劇では、大田支部から多くのスターが誕生、16研を盛り上げました。

11月例会は、長年交友関係にある御殿場支部現役支部長の根上氏による、今、まさに注目のガソリンスタンド経営の難しさ、裏話を講演ねがい、御殿場支部からも沢山の方が応援に駆けつけていただきました。

また、8月納涼会、12月新会員による忘年会、1月マスター会企画の新年賀詞交歓会と、会員相互の交流の輪が広がる楽しい例会になりました。そして、今期最後の3月例会は、経営指針を深め広める会が企画

運営し、丸山金属工業(株)河上氏による「環境整備」をテーマにした、社員参加型例会です。

「社長ひとりですんでいてもよい会社にならない！社員も参加し、共に学んでこそよい会社になるのだ」と、従来の例会スタイルの壁を取り払いました。

更にグループ討論では、講師も丸山金属の社員さんが受け持ち、各社社員同士の本音トークで、新しい例会企画にチャレンジしました。

例会内容も、準備の段階から、企業訪問など入念に打ち合わせを行い、自ら環境整備を取り入れ、実践している講師の皆さんの説得力は素晴らしい、同友会が提唱する経営体験そのものの見本例会となりました。本年の例会参加人数は、3月例会を除いて、残念ながら奮わなかったことが反省点であり、会員の経営体験を中心に開催し、同友会の本来あるべき質のよい例会であったと思います。

その他の委員会活動は…

産学交流委員会の立正大学委員会では、立正大学経営学部の正規カリキュラムの中で「経営総合特論B」を受け持ちました。12講座のうち4講座を大田支部の会員さんが受け持つことができました。都立高専委員会では、経営塾、大田フェスタへの参加、インターンシップの受け入れなど、独自の活動に力を入れ、大田支部産学交流の担い手となりました。

21研、経営指針においては、メンバーの努力と地道な活動により、大田を代表する

研究会として、根付いています。

また、HP部会では初めて公開部会を開催し、各社のHPの紹介、SEO対策についての講義、成果発表など部員の皆さん努力による部会活性化の代表格となりました。その他、各委員会・部会の活躍も列記すべきですが、それぞれの活動報告を以って総括に代えさせていただきます。

2007年活動の総論として

全般的に本年度を振り返ると、支部の組織の見直しはしたものの、会員の皆様につきり正確に伝達できず、一部の皆様に理解していただけなかったこと、大変残念に思います。

また、役員幹事会では、「支部長の役目は幹事会を盛り上げること」と諸先輩からよく言われることですが、具体的にどのようにすればよいのか？会議運営方法が最後までわからず、悩みのひとつでした。

しかし、なるべく多くの会員の皆様に、リアルタイムで活動情報をお伝えしたい、活動意識を高めたいと、例会に於いては、支部の状況、同友会の理事会報告をする機会を頂き、東京同友会と支部の架け橋をさせていただけたいことを大変嬉しく思うと共に、支部を背負っている自分自身の自覚と啓発にもなりました。

大田の会員の皆様が、支部活動に共通課題を持ち、皆で解決策を模索し、様々な意見交換の結果、皆それぞれが支部を愛し、「より良い活力のある大田支部」を目指す、次年度に向けて一歩前進の協力体制に踏み出した2007年度でした。そして、本年、多くの会員の皆様に支えて頂いたことに感謝する次第です。

「変わることを恐れるな、 変わらないことを恐れる」

3月例会河上社長の言葉が心に残ります。以上、2007年度の総括とさせていただきます。

3月例会報告

環境整備で
儲かる会社に変わる
社員と共に行動する企業経営

講師 ● 代表取締役社長 河上達夫氏と社員様

丸山金属工業株式会社(船橋市)

3月26日にP10にて3月例会が開催されました。丸山金属工業は、社員と共に問題点を共有し、掃除をしながら語り合い、企業文化を変化させました。活き活きとした社員は、お得意様・仕入先・銀行に感動と勇気を与え、売上増と利益増につながりました。現在、求職希望者が多く断るに苦勞しています。これには「仕組み」があります。その仕組みを例会で教えてくれます。社長だけでは、感動だけに終わります。この企業文化を自社に定着させるには、社長と複数社員が参加し、仕組みを「パクリ」、即実行する事が必要です。複数の社員と共に参加し、感動だけではなく、共に学び、パクリ、行動しましょう。そして、社員と共に悩み考えましょう。

社員連れで
いつもと違う雰囲気

今回の例会は、社長だけでなく社員さん同伴での出席だったため、会場は大勢の熱気で溢れ、いつもと違う雰囲気で開催前から期待が高まりました。冒頭の講師紹介も趣向が凝っていて、自然にやる気と聞く気をそそられました。丸山金属工業さんで実践をし、結果を出されていることなので、河上社長の口調は静かなが大変迫力がありました。

私も社員と一緒に出席していたので、社員がどんな思いで聞いているのか、どんなことを感じているのか、翌日会社で話し合おうと思いました。前半のお話の総括として、講師の

河上社長から聴衆へ逆質問があり、会場に少し緊張感が走りました。でも、当てられた人は、きっと忘れずに一生記憶に残ることでしょう。

「変わる」ことの認識

丸山金属工業さんの事例紹介を通して感じたのは、「変わる」ことの必要性和意義を全社員で共有し、その手法として環境整備を戦略的に導入されているという点でした。環境整備とは「良い仕事をするための環境を整え、仕事がスグにできるように備えること」ということを全社員が理解して徹底的に取り組まれていく。ただ、それはすぐにそう言った訳ではなく、日々の取り組みや研修を通して、社員間に共通言語が多く生まれ社員のパクトルが合わさって来



車座になってのグループ討論

我が社は如何に？
たこのことです。

これまで丸山金属工業さんがそうして来られたように、これからは私の会社も他社を視察(ベンチマーキング)して、他社の良い取り組みはどんどんパクろう(真似よう)と思いました。また、環境整備を義務化して、時間を決めたり、範囲を決めて計画的に全員で取り組むことが重要だと感じました。これまでも簡単な環境整備の取り組みをして来たつもりではいましたが、今回の例会のお話と事例紹介を見て「徹底すること」の違い(ここまで本気に徹底的にやらないと経営を変える、改善するまでには至らないこと)を痛切に感じました。丸山金属工業の皆様、企画して頂いた経

営指針の会の皆様、元氣の出る例会をありがとうございました。
報告者 ● 株式会社日本デジタル通信
代表取締役・中西将人

変わらない自分を恐れよ！

出席者が150名を超え、異様な熱気に包まれつつ、丸山金属工業河上社長の講演は始まりました。

冒頭で「潰れない会社とは、安定成長するために」について軽くお話いただいた後、本日の本題「変わる」に入っていました。前半は、河上社長による説得力のあるプレゼンでした。刻一刻と変化していく市場に対応すべく、会社を変化させていくにはどうしたらよいか。変化に対応出来なければ消えていく「変わることを恐れずに、変わらないう自分を恐れよ！」と河上社長の力強いお言葉に出席者全員が耳を傾けました。また、スライド写真で具体的な事例を見せていただきながら、社員が変わり、会社が変わる、社員全員で行う環境整備のノウハウをお話いただいたので、出席者の理解度と納得度は相当高いものになりました。後半は、グループディスカッション方式で丸山金属工業社員の皆様から社員の取り組み方や、なぜ社員全員が高いモチベーションを維持していただけるのかなど、現場の生の声を語って頂きました。

環境整備によって
安定成長をし続ける。

市場の変化は、自社の都合を待ってくれない。変わることを恐れずに、また自分達が変わらないことを恐れ、皆で変わっていく。時代の流れ、ニーズ、顧客満足、全ての変化に社員が変わり会社を変える。変わる為に、全社で環境整備を徹底して取り組み、



環境整備のコツは、他社の良い例をどんな真似することが早道であり、丸山金属工業さんもそうして来たとのこと。また、他社の良い取り組みを真似することを「パクリ」と言って、全社員で取り組んでおられるのも印象的でした。

河上社長のお話の中に、「変わるとは、目で見て分かるように形、色、置き場所を変化させること」という言葉がありました。私の会社は、不動産の賃貸管理という業種柄、ファイルが膨大に存在するので、こういった物を環境整備の一環として形、色、置き場所などを工夫して少しでも仕事の環境を整えられればと思います。

私も「パクリ」ます！

仕事をするための環境を整え、仕事がいっでもすぐに出来るように備えることが重要だというのが一貫したテーマでした。

「徹底して取り組む」とは、他人がみて異常だと思われ、そこまでやるかと言われるくらいにやること。「整理」は捨てること。捨てる、捨てることを経営戦略のひとつに据えているとまで仰っておられました。

また、社長だけが環境整備に一生懸命では駄目だそうです。社長の言うことは誰も聞かない。幹部を中心に社員へ浸透させる。他部門、他社の良いところは積極的にどんなに小さなことでも真似る。結果、会社が変わり、業績が上がることよって社員が幸せになり、潰れにくい会社へとなっていく。

社員さんたちの笑顔と社長の思い

今回の例会全体を通して、特に印象的だったのは、丸山金属工業の皆様の笑顔でした。環境整備と社内風景のスライド写真では、社員の皆さんが飛びつきりの笑顔と真剣な眼差しで環境整備に取り組んでいらっしゃいました。その目から同じ気持ちをもつて同じ方向をみているのだと感じました。また、実際に拝見させて頂いた分厚い業務

1月例会報告

新年賀詞交換会



毎年恒例、年の初めにたつぷりと懇親を深め、新年の決意を新たにす賀詞交換会。

今年は、マスター会が担当。

メインのイベント「伝説のビンゴゲーム」は、盛上げの達人・淵さんがリードし、昨年10月〜12月の増強月間で入会された新会員の歓迎会も含め、大いに盛り上がる会となりました。

2

008年のはじまりに、大田支部役員の皆様60人が参加され、賀詞交換会が開催され、大変盛り上がりしました。私はここ二年半程度出席しておりませんが、昨年度もたくさんの方が入会されたようで、久しぶりに行く会は本当に楽しかったです。

新しく入った会員の皆さんを持ち上げるいい企画でしたし、ビンゴゲームもよく計算されていて、アツという間に時間が過ぎました。最後の最後まで楽しく、いい思い出が出来ました。ババを引いた最後の井上さんおめでとうございます。

改善案の帳簿(通称「パクリ帳」)。月に150〜200もの大量の改善案が提出され、それに対して河上社長が1つ1つにコメントと評価を加えているのを見て、河上社長の社員への思いと環境整備へ取り組み姿勢、社員の仕事への熱意があるからこそ、環境整備でここまで変われるのだと感じました。

報告者 ● 株式会社シティハウジング
大森店・営業係長 佐藤浩平

私も経営指針等で勉強し、会社経営に役に立ちました。多くの仲間も出来ました。大田支部は本当に楽しい支部です。当社も息子が会社に入り後を継ぐようです。経営の勉強と仲間づくりをさせようと同友会に入会させました。

これからも、多数の声を反映させる大田支部にしていこうではないでしょうか！

報告者 ● 丸良興業有限公司
代表取締役 虻川良雄

1

月21日、P10にて開催された新年賀詞交換会は、大田支部マスター会が担当幹事となり、久しく会準備に参加致しました。当初10日前で20名位の申し込みでしたが、マスター会が幹事なので、50名は集めたいとガクヨーの小林会長とアバの淵社長の首頭で、例会委員会、マスター会と近い年齢の

昔の会員さんたちに声を掛け、連携を取りました。また、「温故知新部会」の若手経営者の面々には、特にご協力いただき有難う御座いました。今回は、「18名の新入会員の仲間」を迎えるため、新入会員の紹介者は必ず参加して頂くということで、若手部会の強い協力を得て、60名の参加と相成りました。皆様有難う御座います。

例会は、「マスター会」に属する団塊の世代以上の経営者と、二世会の若手経営者の合同顔合せ会、元気な新入会員と懐かしい幽霊会員の同窓会となり、楽しいひと時となりました。やはりメインイベントは、盛り上げ芸人の淵さんの「伝説ビンゴゲーム」。日頃一般に我々が行っているビンゴと違い、奥行きのある歴史的話を交え、数字の確率的に難しい人に商品が当たるといふ、何とも面白いゲームでした。

北山さんの名司会と新入会員のダブルコンビの司会によるスタート。全て新旧会員の合同進行で急な指名の抜てきにも、さすが皆様会社経営者。ドタバタしながらも楽しく会を盛り上げて頂きました。オールド会員のナンカ堂の大河内社長の「自宅強盗侵入格闘事件」の実話談議で、大盛り上がりでした。大河内社長に怪我がなく、ご無事で良かったです。

私も最近例会に出席してないので、新入会員の方々の多い中、昔の懐かしい会員にお逢い出来、楽しく過ごせました。自分の年齢を感じさせられた同窓会の様でした。さらに、若手経営者も、積極的に会をリードされて、頼もしく思いました。さすが、大田支部の同友会の皆さんは、元気があって素晴らしい。

今年はオリンピック等で景気が良くなる予想が、サブプライムローンの影響が何処まで長引くものか。そんな景気ではあります、中小企業家同友会の我々皆、堅実に前向きに、努力して参りましょう。

報告者 ● ニッカル商工株式会社
代表取締役 松下威

今年度の新しい役員が決まりました!

役職	氏名	会社名
支部長	鈴木善彦 ※東京中小企業家同友会理事	株式会社善設計
副支部長	河津文三	株式会社ホワイトホームズ
副支部長	島村 亮	有限会社ルミナス
副支部長	中西將人	株式会社日本デジタル通信
副支部長	荒井 守	ジャストエイト株式会社
副支部長	佃 浩之	株式会社ニッコー化学研究所
副支部長	高倉 博	株式会社レガー口
歴代支部長	猿渡盛之	株式会社サヤカ
歴代支部長・産学立正	久米正資	株式会社日興製作所
歴代支部長	北山輝夫	株式会社北山
歴代支部長	湯本良一 ※東京中小企業家同友会代表理事	株式会社湯建工務店
歴代支部長・会計監査	菅沼佳一郎	株式会社三和デンタル
歴代支部長	内海節子	京浜容器株式会社
組織委員長	大谷雄二	有限会社大谷経営労務管理事務所
広報委員長	虻川良太郎	丸良興業株式会社
総務委員長	淵 真臣	株式会社アバ
産学交流・都立高専	内田由美子	株式会社京浜工業所
人材開発部会長	石川英嗣	株式会社メイショウエステート
21研部会長	佐々木正勝	三笠総合保険
経営指針部会長	佐藤 仁	株式会社シティ・ハウジング
HP部会長	鈴木弘伸	株式会社エールデザイン
親睦部会長	小国博明	日産温調株式会社
温故知新部会長	山口裕詮	株式会社ハーツ
マスター会部会長	小林剛太郎	ガクヨー株式会社
会計	奥野恵正	株式会社ベネフィット・パートナーズ
幹事	高崎明美	高崎会計事務所
幹事	岡田 健	エアプラス株式会社
幹事	高田久志	株式会社ユニオンイデア
幹事	大橋正義 ※東京中小企業家同友会政策理事	株式会社大橋製作所
幹事	矢野口智一	矢野口自工株式会社
幹事	伊藤繁美	株式会社たびプラザ
幹事	田野通保	株式会社データ・テック
幹事	柳澤明子	有限会社バース
幹事	石井誠二	株式会社八百八町

役職	氏名	会社名
幹事	鈴木裕二郎	有限会社鍍金塗装鈴木
幹事	板垣周一	株式会社板垣塗装
幹事	陳 玉芳	有限会社華豊
幹事	井上忠道	株式会社井上製作所
幹事	石渡光男	永岡電設株式会社
幹事	青木義昭	青木株式会社
幹事	平間律子	ベースシステム株式会社
幹事	大河内宏一	株式会社ナンカ堂
幹事	杉崎武春	高輪ヂーゼル株式会社
幹事	熊倉賢一	株式会社クマクラ
幹事	田中基茂	有限会社グローバル・コミッション
幹事	久保井宏	株式会社久保井海苔店
幹事	井上雅雄	株式会社オズタック
幹事	齊藤 勝	大志技研株式会社
幹事	宮崎 浩	三和電気株式会社
幹事	安藤日出男	羽田運輸株式会社
幹事	芦沢良雄	東洋防災設備株式会社
幹事	高萩俊夫	大洋ツール株式会社
幹事	馬場正三	株式会社都志デザイン
幹事	大島右京	フジコン株式会社
幹事	谷口伸輔	リフォーム シン
幹事	馬 英華	東京エレベーター株式会社
幹事	金子博治	株式会社金子海苔店
幹事	菅原勇継	株式会社玉子屋
幹事	近藤隆代	有限会社フローリストニューフラワー
幹事	板倉英樹	株式会社セキトランスサービス
幹事	木村 正	株式会社中央歯科補綴研究所
幹事	飯田和人	株式会社トモパーキングサービス
幹事	小泉泰智	株式会社リントス
幹事	弥田雅典	有限会社弥田商店
幹事	中村 優	公認会計士中村優事務所
幹事	内田 亨	株式会社京浜工業所
幹事	庄司善典	株式会社ジーピーテック
新幹事	秋元次治 ※東京中小企業家同友会理事	株式会社シュウエイ
新幹事	皆川祐一	株式会社ミナガワ
新幹事	大久保茂忠	株式会社リサイクル・ネットワーク

会計監査

支部総会 ● 全会員

(2008年度大田支部組織図)

役員会 ● 必要に応じて

幹事会 ● 第1火曜



【執行機関】

総会 ● 最高意志決定機関(構成員:全会員)

幹事会 ● 日常の活動を司る執行機関(構成員:幹事)

役員会 ● 支部長が必要と認めた時に随時行う。
幹事会のフォロー、外部発信(構成員:役員)

運営委員会

広報委員会

組織委員会

産学交流委員会

立正大学担当

都立高専担当

総務委員会

専門部会

人材育成部会

21研

自社の経営指針を深め広める会

マスター会

HP部会

親睦部会(インターナショナル含)

温故知新の会

例会 ● 月1回

(専 門 部 会 紹 介)

美女シリーズ
第一弾

経営指針を深め広める会

ベースシステム株式会社 代表取締役 平間律子



報告者●
テコデコドリーム研究所
代表取締役
池尾里香

創業者と2代目の 違いをどうだすか

来る3月18日(火)よいよ律子社長の
発表だ！私は律子社長の紹介で今年から
同友会に入会した。

(株)ベースシステムは、自動車整備業パッ
ッケージ開発とソフトの販売を行っている
会社だ。昨年の8月に創業者社長であり、

最愛の夫であった平間潤一氏が天国に召
され、彼女は、50人もの社員を抱える
会社の代表取締役に就任したのだ。

「発表なんて自信ないなあ〜」という
言葉をよそに、今回は経営指針を深める
会、美女シリーズ第一弾という事で、彼
女の持ち前の明るさとお人柄で「会社創
業から現在に至るまでの経緯」「創業者と
2代目の性格的・行動的違い」を分析し
会場を沸かせた。

創業者の経営理念継承、そして律子社
長ならではの発想と行動力で二代目ベ
ースシステム社長として、しっかりと社員と
一緒に動き出されている様子が印象的だ

った。他支部からの参加者もいらっしや
り、改めて全員の自己紹介。終始、和や
かな勉強会となった。美女シリーズ第二
弾は、なぜか私になり超緊張だ！



第6回

あなたのお仕事教えてください!!

株式会社 レガーロ



報告者●西塚神太郎

[住所] 東京都品川区大井4-2-5 後藤ビル2F
[TEL] 03-5743-5058 [FAX] 03-5743-5078
[URL] <http://www.regalo-eco.com>

業務内容●LEDのプロがトータルコーディネート!

LEDサインメーカーのレガーロ

経営理念●夢と志を持ち、他人にやさしく出来る、
素敵な笑顔の持ち主になる。

うちの会社のここがすごい●次世代の光源【LED】を武器に全て
新規のお客様からスタートし、主にナショナルチェーン店、誰でも知
っているお客様からお仕事を頂いている。

なんでもひとこと●実力主義の会社の中で、日々やりがいを感じな
がら自分と見つめあい、自身を磨いていける会社です。



有限会社 華豊



報告者●陳玉芳

[住所] 大田区蒲田4-23-10
[TEL] 03-5703-1988 [FAX] 03-5705-3989
[URL] <http://www.kaho-co.com>

業務内容●糀谷「珍味楼」を開店以来12年、蒲田「来富市場」本店
と西口店の中華レストランをおよび、秋田玉川温泉岩盤浴や各種エ
ステサロンの経営を手がけています。

美味しく食べて、健康を維持し、美しく生きることの幸せを一人でも
多くの皆様に実感してもらいたいです。

うちの会社のここがすごい●名物の餃子は毎日手作り。冷凍材料
も使わず、新鮮な材料だけを使っています。来富市場本店の料理長
は、ぐるなびベストシェフ16人にも選ばれたスゴ腕です。
ガン患者の湯治で予約がいっぱいの秋田玉川温泉と同じ効能のあ
る岩盤浴設備を蒲田で最初に導入したのも当店です。

なんでもひとこと●同友会の皆さんを熱烈応援!

10名以上の宴会で1万円分の食事券、10名以下でも人数分の餃子
無料券を進呈します。



〈第9回〉大田支部3月役員会 & 〈第5回〉幹事会 2008.3.24 議事録

【出席者】17名 ●例会：中西／広報：河津／立正：高倉／都立高専：井上／総務：鈴木善／人材育成：島村／21研：荒井／例会：庄司／産学立正：久米／産学高専：内田／HP：鈴木弘／総務会：久米、北山／幹事：伊藤、淵田中、杉崎

【入退会報告】入会0名 退会2名 現会員数264名
〈退会者〉ティーエム保険・小野氏／トレジャーアセットクリエイティブ・石崎氏

【支部活動報告】

●例会委員会：①例会担当～5月21研、6月人材育成、7月HP、8月有志(旧ブロックなど)、9月マスター、10月親睦、11月温故知新、12月有志(新人)、1月有志(賀詞交換会)、2月一泊同友会、3月経営指針部会

②例会委員会の体制～庄司委員長・伊藤副委員長が退任。現在、代わる方がいない。例会委員会を存続させるかどうかは、正副の預かりとして継続審議。

●広報委員会：支部総会までに作成するはずだった名簿作成が、旺文社さんが写真をなくし遅れ気味。

●組織委員会：あり方については継続審議。大谷委員長は来年度の活動案があるとのこと。経営基礎研究会は良かったが新入会員が新米経営者とは限らないため検討が必要。内部充実も考えたい。

●産学交流委員会(立正大学)：立正大学に関わるメンバーを増やしたい。支部として委員長を担えるだけの力量をつけたい。立正大学や都立高専から会員企業に入社している事例もある。

●産学交流委員会(都立高専)：中小企業経営塾から優秀な学生の海外派遣2名を今年実施。インターシップは継続。進路を選択する学生との懇談会を開催。

●総務委員会：南部協の議長に渡部登貴男氏(電装産業・目黒支部)が就任。経営研究集会の分科会は協議会ごとに開催。区行政には手が回らない1年だった。今年は力を入れたい。

●21研：4月14日 金融環境の悪化について。5月12日(例会兼)講師 河原氏(東工アイエムシー)電気バイクについて。経営の話になるように気をつける。

●人材育成部会：今後の活動についてはもう少し検討したい。

●マスター会：やらないふりをしてやるような穏やかな活動でいきたい。

●親睦部会：次の部会長を小国さんをお願いした。

●ホームページ部会：2ヶ月に1回、世話人会と部会例会を交互に開催。他の支部からも参加も多い。今後の方向性の確立を検討中。

■1泊同友会報告：内海支部長が今年4月19日の総会をもって退任。支部長候補は鈴木善彦氏。

【協議事項】

①ブロック会復活～定期的に交流を図り参加意欲を高める。無理なく集まれるところから始める。

②幹事会の今後の運営～今後は幹事会を毎月開催。役員会は必要に応じて開催。

【直近のブロック会】

●大森ブロック会：5月26日19時～/場所未定

●リバーサイドブロック会：5月22日19時～/場所：蓮沼ひものや

【次回の役員会予定】5月26日、6月23日

「編集君が行く」

作・井上製作所 井上健太郎

2



目次

1面 ● 大田支部総会報告

2-3面 ● 3月例会報告
1月例会報告

4面 ● 新年度新役員発表!
組織図

5面 ● 部会紹介
「経営指針を深め広める会」
あなたのお仕事教えて

6面 ● 役員会報告
4コマ漫画「編集君が行く」
例会告知

今号の担当編集委員

虻川良太郎@クレーン作業なら丸良興業
河津文三@イエー!! ホワイトホームズ
柳沢明子@企業広報サポートのバース
安藤俊也@地域密着まどり君の賃貸情報
馬場雅敬@動画配信のオプasmusメディア
井上健太郎@アルミのことなら井上製作所

東京中小企業家同友会大田支部
Vol.6 ● No.77 ● 平成20年5月12日

東京中小企業家同友会・障害者委員会5月例会
第14回障害者問題全国交流会プレ例会

ダイバシティ・マネジメント ～障害者も活躍する究極の組織作りの極意～

日時 ▶ 5月26日(月) 18:30～21:00

会場 ▶ 銀座プロッサム中央会館「マーガレット」

住所 ▶ 中央区銀座2-15-6 電話 ▶ 03-3543-5677

交通 ▶ 地下鉄有楽町線新富町駅1番出口より徒歩1分

全社員
戦力化
!

今年9月に開催される第14回障害者問題全国交流会に先立ち、プレ例会が開催されます。講師に早稲田大学大学院商学研究科教授の谷口真美氏を講師に向かえ、ダイバシティ・マネジメントについて語ってまいります。

ダイバシティ・マネジメントとは、多様な人材を活用して組織のパフォーマンスを向上させるマネジメント手法。多様性の中身は、性別、国籍、年齢、宗教、ライフスタイル、障害、価値観、教育、習慣、経歴など文字通り多種多様です。講師の

谷口教授は、日本におけるダイバシティ・マネジメント研究の第一人者です。

強い企業の要素の一つとして激変に耐えうる能力があげられます。変化に対応するためには、組織を構成する人やグループが均一でないことが大切という谷口氏。いわゆる異分子、異端児が組織の大事を救った事例も多いのです。しかし、異分子を抱え込むことはたやすいことではありません。では、どうすればいいか…。その答えが、ダイバシティ・マネジメントに隠されているのです。